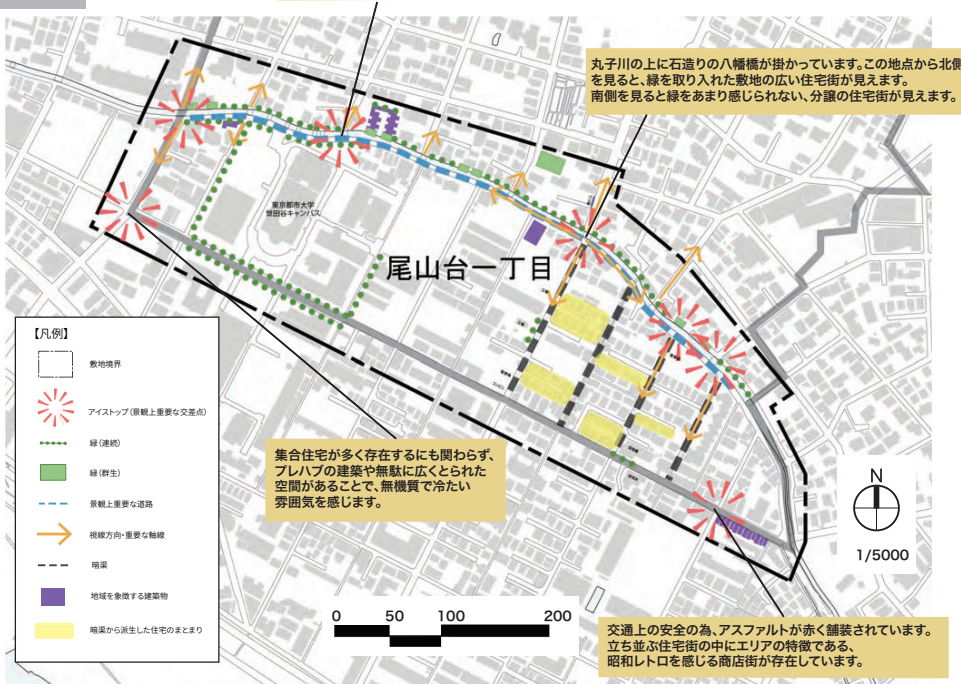


1-5 丸子川エリア

尾山台地区の南側に位置するエリアで、他のエリアと比べると比較的平坦な道が広がっています。エリア内には、多摩川へと続く丸子川が流れており、東京都市大学や田園調布商栄会が運営する商店街があります。自然が身近にあり、比較的静かで居心地の良い街並みが特徴となっています。

景観特性

丸子川沿いに東京都市大学があり、このエリアのシンボルの内の一つとなっています。



1. 自然を感じさせる水辺空間



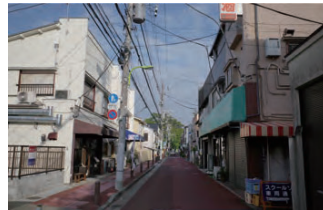
川に沿った連続する緑が居心地の良い空間を演出しています。世田谷区側には各住宅に向かうための小さな橋が多くあるものの川沿い空間は暗く、欄干・橋などが簡易的で乱雑なつらえとなっています。一方で大田区側はそれらのデザインが整えられており、明るい川沿い空間となっています。

2. 暗渠を中心として形成された住宅



暗渠を主軸とし、その主軸から派生するように道が整備されています。派生した道ごとに年代の異なる区画分けがされており、それぞれの区画でまとまりのある住宅エリアが形成されています。

3. 郷愁を感じる商店街



古い建物や歴史を感じさせる外観の建物が多く、他の場所と比べて1軒1軒がひしめき合っているのが特徴的です。商店街ではありませんが歩道がしっかりと確保されており、比較的車道が狭くなっています。また運転手への注意喚起のために道路が赤く色付けされています。

景観形成の目標

親水空間のある丸子川を感じられる、川と街が調和した景観へ

川のある街の個性を引き出し、歴史ある商店街の魅力をより増幅させるような景観形成を図る。

景観形成の方針

1. 居心地の良い川沿い景観をつくる

景観形成の考え方

世田谷区側と大田区側の統一感を演出し、川と周辺の景観が調和した、川の存在をより身近に感じられる景観形成を図る。

具体的な方策

- 世田谷区側も川に降りられるように設える。
- 照明・街灯を独自のものに統一する。
- 川沿いの植栽を低木のものに統一する。



居心地の良い川沿い景観(イメージ)

2. 歩いて楽しい住宅街エリアの創出 一各区画の特徴を

景観形成の考え方

各区画の特徴を保ちつつ、主軸となる暗渠の道を歩いても楽しくなるような空間を創出する。

具体的な方策

- 街灯を各住宅の雰囲気に合うものとする。
- 四季を感じられる植栽を植える。
- 一定の距離感で木を植えることで、圧迫感を抑える。
- 座ることができる花壇を設置する。

住宅街に合う街灯



住宅街エリア(イメージ)

植栽の設置

3. 昭和レトロを引き出す景観をつくる

景観形成の考え方

商店街が持つ”親しみを感じられる”という魅力が活きる景観デザインを行うことで、更なる商店街独自の特色を引き出す。

具体的な方策

- 看板などの店舗の装飾を外に出すことで、視覚的な演出を図る。
- 外の道に開けた店構えにすることで、賑わいのある空間を創出する。
- 低木の植栽や照明を整えることで、見通しの良い景観を創る。
- 電柱の色を植栽に合わせた茶色い系統にそろえる。

商店街に合う街灯



商店街エリア(イメージ)

外の道に開けた店構え

装飾の溢れ出し